

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和02年01月15日

計画の名称	「河川がきれいなまちづくり」の実現その (重点計画)												
計画の期間	令和02年度 ~ 令和06年度 (5年間)										重点配分対象の該当	○	
交付対象	行田市												
計画の目標	下水道整備を行い、安心・安全、快適な暮らしを実現し、良好な水環境を創造する。												
全体事業費 (百万円)	合計 (A + B + C + D)	653	A	653	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C + D)	0	%

番号	計画の成果目標 (定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R2当初)	中間目標値 (R4末)	最終目標値 (R6末)
1	令和6年度までに下水道整備を予定している地区の下水道整備率を0% (R2当初) から100% (R6末) に増加させる。 下水道整備率 下水道を整備した面積 (ha) / 整備予定面積 (23.4 ha)	0%	60%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	行田市	直接	行田市	管渠(汚水)	新設	元荒川第10処理分区汚水枝線整備事業	L=3,900m、舗装A=30,000㎡	行田市						653	-	
											小計						653		
											合計						653		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R2	R3	R4	R5	R6
配分額 (a)	57	84	81		
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	57	84	81		
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0		
支払済額 (e)	57	84	81		
翌年度繰越額 (f)	0	0	0		
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%	0.0%		
未契約繰越＋不用率が10%を超えている場合その理由					



【A07-001】
元荒川第10処理分区汚水枝線整備事業

凡 例

—— 下水道法による事業計画区域
 - - - 既設管渠(幹線)
 ○ ポンプ場(既設)

事前評価チェックシート

計画の名称：「河川がきれいなまちづくり」の実現その（重点計画）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 計画の目標が上位計画等と適合している。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題を踏まえた目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 関連する他事業の計画と整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標の根拠が整理されている。	○
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が見込まれている。	○
III. 計画の実現可能性 全体事業費・要素事業の額が適切である。	○
III. 計画の実現可能性 関連する機関との調整が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性など事業の熟度が高い。	○